

武蔵野市の将来を考える市民会議 傍聴者アンケート
第5回 集計結果

傍聴者10名のうちアンケートに回答したのは6名

①はじめに、このアンケートに回答される方についてお尋ねします。

該当する部分を○で囲んでください。

1	市内在住	6人	吉祥寺本町、境南町、西久保、緑町、八幡町
2	市内在勤	0人	
3	市内在学	0人	
4	その他	0人	

性別

男性	4人
女性	2人

年齢

10歳代	0人	50歳代	1人
20歳代	0人	60歳代	1人
30歳代	0人	70歳代	1人
40歳代	3人	80歳以上	0人

②今回の市民会議を何でお知りになりましたか？（複数回答あり）

1	市報	4人	
2	市ホームページ	0人	
3	友人知人の紹介	1人	
4	その他	1人	2, 3回を傍聴しましたので

③今回の市民会議で印象に残った、または興味のある議論や課題がありましたら記入してください。

- ・「話し合いのフレーム案」の中に社会的弱者（生活保護者、障害者、外国人、母子家庭など）が浮き出てきていない。一般論で終わってしまって、地名を変えただけで他市でも使えてしまうキーワードが多いことが非常に心配です。
- ・事務局提案が配布資料にないのはなぜか？
- ・武蔵野のオリジナリティ（課題）を浮き出させる工夫をどこまで重要視しているのか？事務局の姿勢（情報提供の仕方）が市民目線になっていないことが残念。
- ・「手を貸してほしい」「手伝ってほしい」と気軽に言い合えるまちにはなっていない。住み続けられるまちになっていないことが非常に大きな課題である。
- ・市民協働の考え方

↓裏面に続く↓

↓表面の続き↓

- ・市全体にかかわる大きなテーマを論じるには無理があるのでは、と感じた。
- ・自治とはどういうことか？コミュニティの有り方は・・・？等々、いろいろな意見があり大変にためになりました。
- ・世代の違いにより、考え方に差が出ているのかなと思いました。
- ・武蔵野市に学校がないという意見に少々びっくり！？しました。人口の割には学校が多いと思っていたので・・・。
- ・企業の誘致に賛成です。若い世代に居ついてほしいという意見に賛成です。
- ・委員の年代、意見、経験に変化あり適切な選定だった。しかし各々の委員選定の理由を公開してもらいたい。
- ・コミュニティ…居場所づくりが言われている。セキュリティでがっちり閉じた排他的な住居に住んでおいて、居場所がほしいなんて身勝手な感じがします。まず自分の家のドアを開いて、隣人を招いてみたらいい。あらためてテンミリオンを新設しなくても、ご近所づきあいを上手にしている人を支援すればいいのではないか。
- ・Dさんの発言に対し、BさんGさんがきちんと反論して下さって安心した。「まとめることを期待していない」という発言に対し、事務局が黙っているのは意外。話し合い、聞き合い、何らかのまとめを作ることを否定したら会議の意味がなくなる。他の委員が時間を割いて出席していることに対して大変失礼。
- ・他に、別紙1のご意見もありました。(長文のため、別添とする)

④その他、ご意見・ご感想などありましたら記入してください。

- ・今回話されたことを策定委員会でどのように取り上げてもらうかを、本気で議論してほしかった。その姿を見える化してほしい。
- ・一番住みたい街No.1に武蔵野市がなったとのニュース？が新聞等に出た事がありますが、市民は実際何を基準に「住みたい街」をイメージしているのだろうか？
- ・市民の意見や目標が具体的にできれば行政に反映できるのでは。
- ・もっと若い世代を活用する仕方とか、市議会のあり方と市民参加の仕方とかを議論してもよかったのではないか。
- ・市議会の情報の開示をもっと議論してもらいたかった。市議会で議論される前に、委員会でだいたい協議されてしまうと思うのですが、そこに市民の意見を直接届けるにはどうしたらいいのか、もっと気軽に話し合える場であってほしい！
- ・こういう会議の枠組みだとどうしても「市に何かを求める」形になる。「市民は自分のまちのために何ができるか」という視点で会議の枠組みにしたらいいと思う。話し合ったことが実践につながりやすいと思う。
- ・次回の市民会議は、「現在走っている施策の進捗状況のチェック」をしてから、優先順位の変更や新規追加、削除などに意見をもらうようにしたらより発言が具体的に感じやないかなあ。
- ・他に、別紙1のご意見もありました。(長文のため、別添とする)

ご協力ありがとうございました。

平成 22 年 10 月 14 日

武蔵野市の将来を考える市民会議
委員の皆様
事務局の皆様

武蔵野市緑町在住

先日は第 5 回目の市民会議お疲れ様でした。

第 6 回目の会議が開催されたのかどうか、現時点で私には分かりませんが、第 5 回会議を傍聴しての感想をお送りいたします。

◆市民不在の会議だったのではないのでしょうか？

まず、事務局の皆様に向います。

第 5 回会議で、報告書（案）について会議が進められましたが、この報告書（案）はどのような理由で傍聴者には配布されなかったのでしょうか？

報告書（案）に対する会議進行では無かったと思いますが、委員の皆様の意見は多くが（案）に対するものだったと思います。手元に資料が無かったため、委員の皆様の意見が理解出来ず、非常に不満の残る会議でした。

配布が出来ないのであれば、せめて閲覧という方法もあったはずですが。傍聴に来たものの会議内容を明快に感じられないというのは大変不愉快であり、公開というのはお粗末すぎますし、これを以って市民参加を喧伝されるのであれば憤りを感じます。

次に委員の皆様に向います。

第 6 回目の会議を行い、報告書を取りまとめるということだったと思いますが、第 6 回会議はなぜ非公開なのでしょう？

事務局がたたき台を作る、という過程であれば、あくまでも事務作業の一環として理解できますが、公式の会議で一度委員の皆様へ公開されたのであれば、それは市民へ公開した者同然であり、そのことについて再度議論されるのであれば、やはり公開の場で行うべきと考えます。

皆様は、市民参加の名の元に 20 名の公募すなわち市民から公に選ばれて委員に就かれたはずですが。その皆様が市民の前で公開できない議論などあるのでしょうか。

なにより、私たち市民は報告書（案）を見ることも、その議論を傍聴することもできず、いつの間にか報告書が出来ている。このことが非常に残念でなりません。

最後にもう一点お伺いしたのは、傍聴者意見の扱われ方です。

委員の皆様も事務局の皆様も、傍聴者意見の内容について、何か感じる部分やお考えになる部分はあったのでしょうか？

瑣末な意見と言われればそれまでですが、私の拝見する限り、委員の皆様や事務局の皆様が傍聴者意見の内容を取り上げられた場面に遭遇いたしませんでした。

委員の方から「語られることの無かった項目もあった、と報告書に記載して欲しい」といった意見があったかと思いますが、第5期基本構想という市の最上位計画策定にかり、武蔵野市の将来像を考える委員会において「語られることの無かった」で済ませることのでき項目とは具体的に何を指すのでしょうか？

全5回計10時間の市民会議で、すべて議論できるとは思いませんが、傍聴者意見には具体的な指摘等があったはずですが、何を語ることが出来なかったのか、「将来を考える市民会議では取り上げる時間がなかったが、下記は重要な案件と考える」といった記載方法で、是非具体的に指し示していただきたいと思います。

また、報告書には傍聴者意見も参考資料として添付するべきと考えます。

委員の皆様もご指摘していらっしゃったとおり、そもそも会議の回数が少ないのですが、それは当初から分かっていたことであり、その報告書が意見の羅列に近くなってしまうのは致し方の無いことと思います。

しかし、「対立する複数の意見について議論を重ねた結果、収斂できないため両論併記」となることと、「時間が足らなかったため議論とならず、意見交換で済ませたので要約を羅列」では、大きな違いです。

意見要約を羅列という形の報告書であるのなら、傍聴が許された第2回から第5回までの会議内容に対する傍聴者意見も参考資料として添付して良いと考えます。

以上、感想というには穏当を欠く文書かと思いますが、率直な感想としてお伝えいたします。